

News Release

2020年1月23日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

リチウムイオンバッテリー搭載製品の事故にご注意ください ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方のリチウムイオンバッテリー搭載製品の事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2014年度から2019年度^{※1}までの6年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※2}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生したリチウムイオンバッテリー搭載製品^{※3}による事故は計391件あり、うち火災となった事故は274件ありました。リチウムイオンバッテリー搭載製品による事故について、関東甲信越地方の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3、事故発生上位12製品を表4に示します。

※1 本資料における2019年度の件数は、2019年12月31日までに通知のあった件数をいう。

※2 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※3 本資料では持ち運び可能な外付けのLiB（いわゆる携帯充電器、パワーバンク）のことを「モバイルバッテリー」、スマートフォンやノートパソコン用の組電池のことを「バッテリーパック」、バッテリーパックを構成する単電池を「セル」と呼びます。

表1. 年度別事故発生件数

	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
事故発生年度	2014年度	1	1	8	3	3	20				36	
	(内数)火災事故		(1)	(5)	(2)	(1)	(13)				(22)	
	2015年度	2	3	9	9	6	16		3		48	
	(内数)火災事故	(1)	(3)	(5)	(7)	(2)	(11)		(3)		(32)	
	2016年度	1	3	7	11	6	37		2		67	
	(内数)火災事故	(1)	(3)	(5)	(8)	(5)	(28)		(2)		(52)	
	2017年度		3	13	17	12	25	1	2	1	1	75
	(内数)火災事故		(2)	(6)	(13)	(8)	(20)	(1)	(2)		(1)	(52)
	2018年度		3	13	8	9	36	1		3	1	74
	(内数)火災事故		(2)	(12)	(3)	(4)	(25)	(1)		(3)	(1)	(51)
2019年度		3	14	20	17	29	3	2	2	1	91	
(内数)火災事故		(1)	(10)	(14)	(11)	(24)	(1)	(1)	(2)	(1)	(65)	
合計	4	16	64	68	53	163	5	9	6	3	391	
(内数)火災事故	(2)	(12)	(43)	(47)	(31)	(121)	(3)	(8)	(5)	(2)	(274)	

表 2. 被害状況別事故発生件数^{※4}

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡			1							1	
		重傷											
		軽傷		2	5	2	6	9					24
	物的被害	拡大被害	3	13	46	51	36	110	3	8	4	3	277
		製品破損	1		12	9	8	40	1		2		73
		被害なし		1	1	5	3	4	1	1			16
合計		4	16	64	68	53	163	5	9	6	3	391	

※4 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表 3. 原因区別別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの	1	1	9	16	4	41				1	73
	B 製品および使い方に問題があったもの				1	1	1					3
	C 経年劣化によるもの											0
	G 3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	2	4	21	15	19	44	1	5	1		112
	小計	3	5	30	32	24	86	1	5	1	1	188
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの											0
	E 誤使用や不注意によるもの		1			1	5					7
	F その他製品に起因しないもの			1		1						2
	小計	0	1	1	0	2	5	0	0	0	0	9
その他	G 原因不明のもの	1	5	9	11	4	18		1		1	50
	H 調査中のもの		5	24	25	23	54	4	3	5	1	144
	小計	1	10	33	36	27	72	4	4	5	2	194
合計		4	16	64	68	53	163	5	9	6	3	391

表 4. 事故発生上位 12 製品

製品名	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
ノートパソコン		5	10	18	11	54		3	2		103
モバイルバッテリー		3	12	20	13	33	2		1		84
スマートフォン	1	1	11	10	7	13	1	2	1	1	48
充電式電気掃除機	1	1	4	6	3	11				1	27
電動アシスト自転車			4	3	1	11					19
ラジオコントロール玩具		3	4		3	1			1		12
照明器具				2	3	3		1			9
携帯型音楽プレーヤー	1		3		1	4					9
タブレット端末			1	1		4					6
充電式電動工具			1	1		4					6
電動リール			1	2		2		1			6
無線機					2	4					6
合計	3	13	51	63	44	144	3	7	5	2	335

(2) 関東甲信越地方において発生したリチウムイオンバッテリー搭載製品の事故事例

① ノートパソコン

- ・ 2018年6月、神奈川県、拡大被害

(事故内容)

事務所でノートパソコンを使用中、ノートパソコン及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

バッテリーパック内のセル内部に異物が混入したため、内部短絡が生じて異常発熱し、出火に至ったものと推定される。

② スマートフォン

- ・ 2018年10月、千葉県、拡大被害

(事故内容)

スマートフォンが焼損し、畳が焦げた。

(事故原因)

バッテリーパック内のセルが内部短絡して異常発熱し、焼損したものと推定されるが、内部短絡した原因の特定はできなかった。

なお、輸入事業者は、事故原因は不明であるものの安全性を向上させるため、2018年7月17日から充電制御機能に係るファームウェアの更新プログラムを配信している。

③ 充電式電気掃除機

・ 2019年2月、神奈川県、軽傷

(事故内容)

掃除機から火が出て、周辺を焼損し、足に火傷を負った。

(事故原因)

バッテリーパック内のセルが内部短絡して異常発熱し、焼損したものと推定されるが、内部短絡した原因の特定はできなかった。

2. リチウムイオンバッテリー搭載製品の事故の再現実験映像について 以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(1) 実験映像内容

- ① 電動工具用非純正バッテリーパックの事故 (2. (2) 写真1)
- ② リコール製品のモバイルバッテリーから発火 (2. (2) 写真2)

(2) 実験映像例

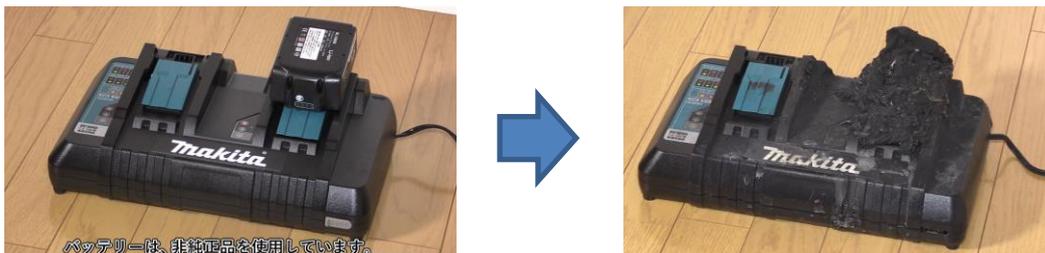


写真1. 電動工具用非純正バッテリーパックの事故

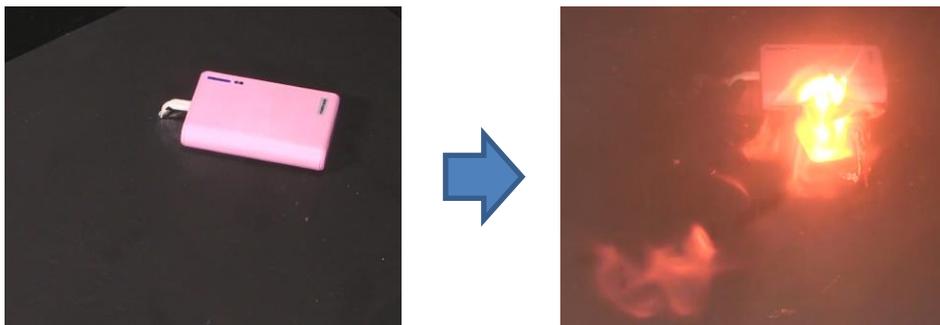


写真2. リコール製品のモバイルバッテリーから発火

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課

担当者：松本（まつもと）、長谷川（はせがわ）、佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820